

史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会（第25期・第6回）  
議事要旨

日 時：2022年8月4日（木）9：30～12：40

会 場：オンライン開催

出席者：福永伸哉、芳賀満、臼杵功、内山幸子、恵谷浩子、大久保徹也、奥村弘、  
菊地芳朗、佐藤宏之、佐藤義明、辻田淳一郎、林部均、松田陽、松本直  
子、宮路淳子（以上15名）

欠席者：瀬谷愛

書記担当：松本直子

（1）前回議事要旨の確認  
異議無く承認された。

（2）意思表出へ向けての検討

①菊地芳朗委員「文化財防災体制の拡充について」

菊地委員より、本分科会で今期発出を予定している「見解」の柱の一つとなる文化財防災に関して、現状分析を踏まえた「見解」骨子（案）が報告された。主な内容は次のとおり。

- ・骨子案の内容（案）（「防災基本計画」における文化財防災の記載の充実、文化財防災センターの充実、文化財保管体制・施設の充実、情報通信技術による文化財の記録活用の促進等）
- ・「見解」作成に向けた課題の検討（「防災基本計画」と文化財の関係、文化財防災センターへの聞き取り調査、異なる意見の確認、過去の提言との関係等）報告を受けて、種々の意見交換、質疑応答を行った。

②福永伸哉委員「改正保護法以後の文化財保護の現状と課題について」

福永委員より、本分科会で今期発出を予定している「見解」の柱の一つとなる改正保護法以後の文化財保護に関して、現状分析及び「見解」作成に向けた論点整理の状況が報告された。主な内容は次のとおり。

- ・文化財保護法改正に至る経緯
- ・法改正段階で予想された課題と現状
- ・「見解」作成へ向けての論点整理（保存／活用の適切なバランス、「文化財保存活用地域計画」策定の推進、「文化財保存活用地域計画」の内容、法改正への対応における自治体間の格差、専門人材の育成・配置への取り組み、文化財事

務の所管が首長部局へ移管されることの問題等)  
報告を受けて、種々の意見交換、質疑応答を行った。

(3) 意思表出の内容と作成スケジュール等について

今期の審議を踏まえた意思表出を「見解」の形で行うことを承認した。今回の分科会審議を踏まえて、福永委員長、菊地幹事を中心にたたき台案を作成し、次回(12月予定)の分科会にて検討することとした。

(4) 公開シンポジウムの主催について

当分科会主催の公開シンポジウム「文化財保護に未来はあるかー日本の文化財のこれからを考えるー」を12月11日(日)にオンライン形式で開催することが承認された。

(5) その他

特になし。

以 上